

## - 4 放置自転車撤去保管業務

---

### 【議事内容】

< 所管課からの説明 >

< 主な質疑 >

( 坂和委員 )

自転車は生活に必要なものであり、大半は放置された自転車ではないはず。

自転車を市民生活に活かすまちづくりといった全体の議論が必要であり、その中で撤去、保管に力を入れるのではなく、駅前に駐輪場を増やすといった事業が必要になるのではないか。

( 所管課 )

駐輪場に置かず、駅前の歩道等に止め、利用者が自転車から離れ、直ちに移動することができない自転車を放置自転車と考えている。

( 坂和委員 )

レンタサイクルに力を入れるべきではないか。ただし、300 円/日は高いので、100 円/日程度にすると利用者も増えるのではないか。

( 所管課 )

コミュニティサイクルを9月から、4つの駅で実施する。コミュニティサイクルは、自転車を共同利用することにより駐輪場が有効に活用され、放置自転車対策にもなると考えている。今後、利用者の意見を参考に改善・拡大を検討していく。

( 中谷委員 )

堺自転車環境共生まちづくり基本計画に対する評価結果はどのようなものだったのか。評価結果が反映された結果、撤去・保管を中心とした事業が生まれたのか。

市民の意見は反映されているのか。自転車の利用方法などをもっと市民意見を取り入れるべき。

また、対策するためにはもっと多様な分析データを算出すべき。

( 所管課 )

堺自転車環境共生まちづくり基本計画に対する評価は、主に駐輪場利用についての議論が中心であり、撤去・保管に対する話は出ていない。

分析データについては、今は手元にはないが、定期利用率・一時利用率などのデータは持っている。

(尾崎委員)

自転車を利用するだけでなく、交通弱者への配慮もすべき。  
駅前駐輪場の設置箇所について、駅までの距離を条例に明記するなどの努力が足りないのではないか。他市町村では実施されている。

(所管課)

現時点では、概ね 200m以内に設置している。また駐輪場の設置には行政だけでなく、商業施設を運営する民間との協力関係も重要だと考えている。  
ただし、駅前の開発が終了していて、現状では駅前に駐輪場を設置することはむずかしいが、今後連続立体交差事業・駅前再開発事業にあわせて駐輪場を可能なかぎり駅前に設置していきたい。

(尾崎委員)

商業施設や鉄道会社との連携はしているのか。

(所管課)

鉄道事業者が駅周辺で用地を持っている場合は借りている。また、堺東駅前については、駐輪場管理者である南海電鉄や高島屋と協議して、利用しやすい駐輪場へと改良を加えている。

(田中委員)

自転車産業は堺の強みとなるべき。自転車のまちであれば、日本一自転車のデータが豊富であってほしい。夢のある自転車のまちづくりを行うため、デパートや鉄道会社と協力したらどうか。

(坂和委員)

駐輪場が設置されれば放置はなくなるはず。これを第一にやるべき。商店街の空き店舗を利活用したらどうか。どこに設置できるかの検討をすべき。

(枚本委員)

放置されやすいのは安い自転車。国産の良い自転車に乗ってもらえる施策が大事。例えば、駅前駐輪場に自転車修理機能をつけることも一つの施策。堺の産業を生かすためにも、自転車によるまちづくりの方向性を示すべきではないか。

( 所管課 )

堺コミュニティサイクルは、国産の部品を堺で組み立て、整備し、良い自転車を良い状態で乗っていただくことで、堺製の自転車の良さを感じ、購入して乗ってみたいと思っ  
ていただけたらと考えている。

( 中谷委員 )

自転車のまちづくりの一環として対策事業があるべき。大阪府立大学では、心理的な方法として、自転車をきれいに並べることで、学生等も見習うようになった。利用者が気持ちよく使える工夫もあってもいいのではないか。

( 所管課 )

自転車利用者に見合う駐輪場は整備しているので、駅に近いか遠いかで料金格差を設けるなどして、利用者のニーズに合わせた、よりきめ細かい料金体系を作り、駐輪場利用を誘導し、利用してもらえような施策を考えていきたい。

( 坂和委員 )

撤去ありきではなく、撤去業務は廃止し、その予算を駐輪場の新設やコミュニティサイクルなど放置対策に効果のある別の事業で使うことも検討してもいいのではないか。

< 評価 >